

ネットワーク管理インターフェース変換用 TMN/SNMP ゲートウェイ

1995年（平成7）、インターネットの管理システムから、SDHやATMなどの伝送・交換設備をはじめ、TMN（電気通信管理網）に準拠する設備を監視・制御するTMN/SNMPゲートウェイ装置を開発した。インターネットでは、ルータ、ブリッジ、ワークステーションなどを管理するため、TMNとは異なるSNMPを用いている。このゲートウェイは、それらのプロトコルや管理情報をTMNと変換し、ユーザーの管理システムから公衆網設備の監視、制御を可能とするCNM（顧客管理）サービス提供に必須の装置である。このシステムはKDDグループの株式会社オーエスアイ・プラスより「SNMP対応TMN Qアダプタ」として商品化された。

出典：KDD社史